

ふじわら いくぞう

【学校の玄関左側にある陶壁画の作者の方がわかりました】藤原郁三先生です

昨年(2021年)の12月、来校された方から『玄関にある、この壁画の作者の方は誰ですか』という質問を受け、その作者の方を探していたところ、2月中旬その作者を知っている方に出会いました。
その方は、読み聞かせでお世話になっている^{あしのやよい}芦野弥生さんです。この度、芦野さんが間に入ってくださり、先生にお会いするご縁をいただきました。



▲陶壁画「男体山」



▲藤原郁三先生
(益子町：藤原陶房にて)

【栃木県内外にたくさんの作品】
(陶壁・モニュメント・ICイラスト)

- ・栃木県立大平少年自然の家
- ・鬼怒川温泉の“鬼怒太”像
- ・川治温泉の“道祖神”像
- ・栃木県庁 ・大室小
- ・大桑小 ・小来川小中
- ・落合東小 ・日光東中
- ・粟野中 ・自治医科大学
- ・リッチモンドホテル 等多数

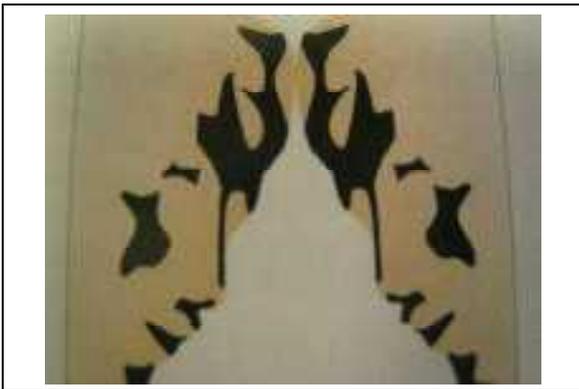
《先生からお伺いした話》

- ・平成3年(1991)作成、図柄は「男体山で」と依頼がありました。
- ・着手前に学校近くで、春の「男体山」のスケッチをしました。
- ・3月頃の「男体山」は、とても美しいんです。(残雪と芽吹きの色合い)
- ・使用した色は、150色程です。
- ・使用したパーツは、1000程あると思います。
- ・後々、子ども達が触ったりすることを想定し、凹凸がないものにしました。
- ・デザイン作成から完成までには、約半年ほどかかりました。



ご来校の際、ゆっくり壁画をご覧ください

【ものの見方・考え方について考えましょう】何に見えますか？



←左の絵が何に見えますか？

- A 「二羽の鶴」のみ
- B 「向き合った二人の顔」のみ
- C 「二羽の鶴」と「向き合った二人の顔」が同時に見える
- D その他

◎絵の見え方は、皆同じではなく、Aの方、Bの方、Cの方、Dの方、人それぞれです。物事には多面性があります。一面的な見方に固執すると、他の見方が少ししにくくなるので、物事を意図的に複数の視点から見ようとするのが大切です。家庭生活においても、子どもの短所ばかりをとらえていると長所が捉えにくくなるので注意しましょう。

『かがやき～家庭教育支援事業編～』(人権に関する社会教育指導資料) 栃木県教育委員会生涯学習課平成25年3月発行より

【平成31年度入学式：4月10日(水)入学式】(33名入学予定)



★校長室の日めくりカレンダーより★

“いくつになっても新しいことは始められる”

学校ホームページもご覧ください

